

コスモス病院 放射線部便り

No.6 2019.4

今回は、胆嚢、胆管、膵管を描出するMRCP (Magnetic Resonance cholangiopancreatography)について、ご紹介いたします。

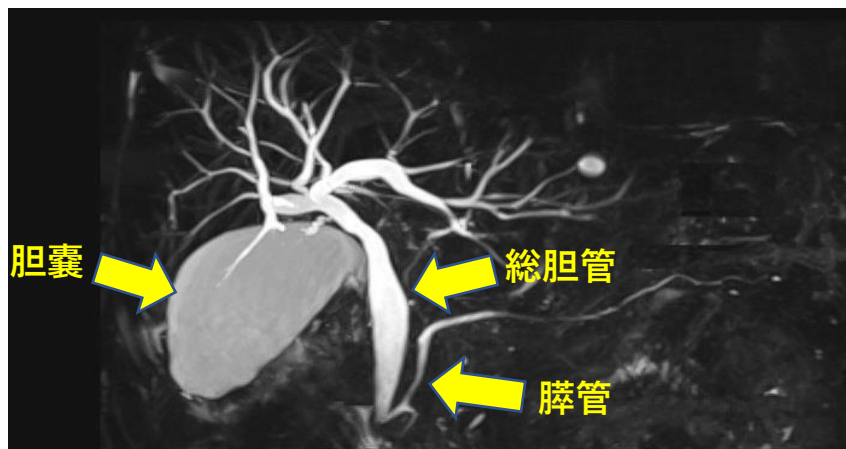
MRCPとは

MRI (Magnetic Resonance Imaging)を使って、胆汁や膵液などの液体成分を描出します。膵管や胆管の拡張、途絶、欠損、圧排などの情報を画像化できます。

この検査の利点

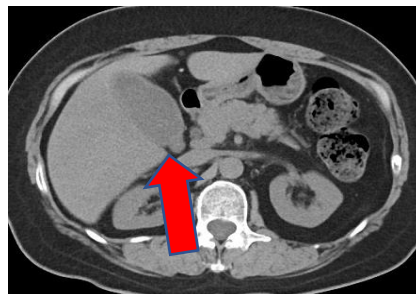
- ① 造影剤を使用しない
- ② 検査時は横隔膜の動きを見ながら撮影する為、息止めの難しい人でも検査可能
- ③ 水平断だけでなく冠状断を撮影することにより胆道や胆嚢、膵管の位置関係が得られる

注意事項・・・MRI検査ですので、ペースメーカーや人工内耳などの確認が必要です。8時間の絶飲食が必要となるので午前中の撮影になります。



実際の撮影画像

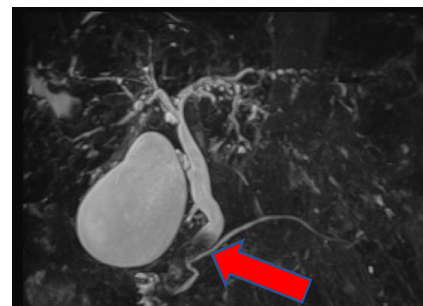
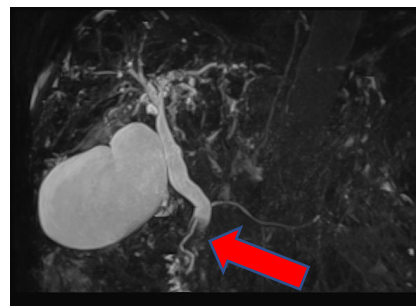
胆嚢結石のCT画像



胆嚢結石のMR画像



上の画像は同じ患者さんの画像です。
腹部CTで確認困難な結石も、MRCPで確認することができます。



上の2つの画像は、画像処理を行った3D画像です。
3D画像を回転させることにより、総胆管(→)で黒くなっているところに結石が確認できます。

*CT・MRIの機能や撮影画像について、情報提供を定期的に行いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

不明な点がございましたら、放射線部までご連絡お願いいたします。

コスモス病院 放射線部

放射線部直通番号 86-5232

